

2012年11月5日

各位

会社名 東京センチュリーリース株式会社
 代表者名 代表取締役社長 浅田 俊一
 (コード番号 8439 東証1部)
 問合せ先 広報IR室長 正円 雅章
 (TEL03-5209-6710)

2013年3月期 第2四半期決算の概要について

本日発表の2013年3月期 第2四半期決算について、その概要をお知らせいたします。

記

1. 2013年3月期 第2四半期決算の概要

- ・当第2四半期連結累計期間におきましては、中期3ヵ年経営計画の最終年度にあたり、さらなる営業基盤の強化策として、インドにおけるリース事業の展開に向け Tata Capital Financial Services Limited 内にジャパンドeskを開設するとともに、米国独立系リース会社 CSI Leasing, Inc.との業務提携を締結するなど、アジア・北米・中南米におけるネットワークを拡充しました。また、環境・エネルギー分野への取り組みを推進し、京セラ株式会社と太陽光発電による売電事業を開始しました。
- ・事業の成果としましては、契約実行高は前年同期比9.9%増加の5,443億円、営業保証を含む営業資産残高は前期末比0.9%増加の2兆1,616億円となりました。
- ・損益面につきましては、営業利益は前年同期比5.2%減少の205億円、経常利益は同3.6%減少の235億2千万円となりましたが、四半期純利益は同8.0%増加の144億1千万円となり過去最高を更新しました。

2. 財務ハイライト (連結)

	2011/9期 (11/4-9)	2012/9期 (12/4-9)	前年同期比		2013/3期		
			増減額	増減率	業績予想	進捗率	
売上高 (契約実行高)	3,489.2 4,953.6	3,441.7 5,443.4	-47.5 489.8	-1.4% 9.9%	7,000 10,800	49.2% 50.4%	
営業利益	216.2	205.0	-11.2	-5.2%	420	48.8%	
経常利益	244.1	235.2	-8.9	-3.6%	465	50.6%	
四半期純利益	133.4	144.1	10.7	8.0%	270	53.4%	
					営業資産増減内訳		
	2012/3末	2012/9末	前期末比 増減額	前期末比 増減率	2012/3 末	2012/9 末	増減額
総資産 (うち現預金)	22,603.9 435.6	23,378.7 402.8	774.8 -32.8	3.4% -7.5%	リース 13,758	13,989	232
営業資産	21,432.2	21,615.6	183.4	0.9%	割賦 1,880	1,906	27
純資産	2,012.7	2,134.2	121.5	6.0%	ファイナンス 5,307	5,285	-22
自己資本比率	8.4%	8.7%	0.3pt	—	計 20,944	21,180	236
					営業保証 488	435	-53
					合計 21,432	21,616	183

※営業資産には営業保証を含みます。

3. 損益の状況（連結）

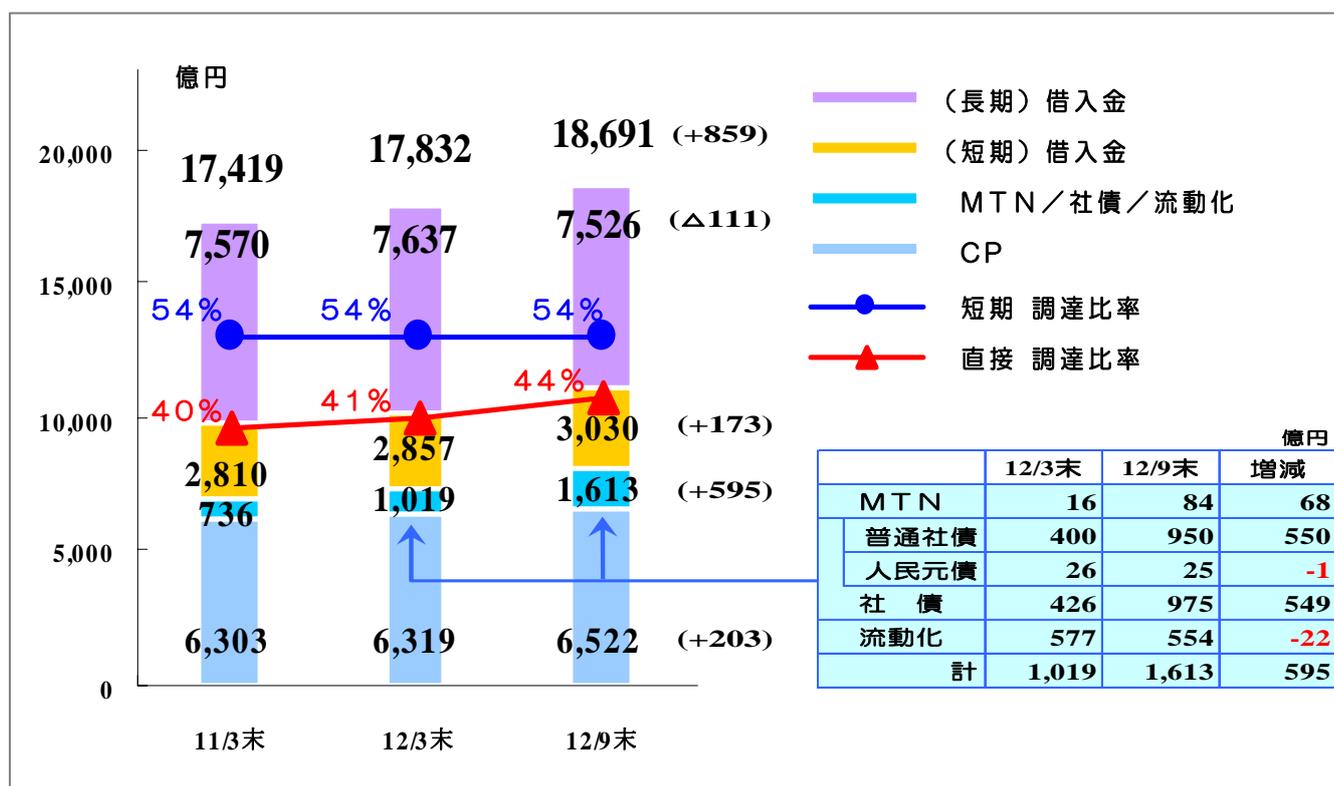
- ・四半期純利益は、前年同期に計上した投資有価証券評価損が減少し特別損益が改善したことなどにより、前年同期比 10 億 7 千万円増加の 144 億 1 千万円となり過去最高を更新しました。

単位：億円

	2011/9期 (11/4-9)	2012/9期 (12/4-9)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,489.2	3,441.7	-47.5	-1.4%
売上原価	3,131.0	3,100.2	-30.8	-1.0%
うち資金原価	60.0	51.5	-8.5	-14.1%
売上総利益	358.2	341.5	-16.7	-4.7%
販売費及び一般管理費	142.0	136.5	-5.5	-3.9%
うち貸倒費用	-6.9	-12.1	-5.3	—
営業利益	216.2	205.0	-11.2	-5.2%
営業外損益	27.9	30.2	2.3	8.3%
経常利益	244.1	235.2	-8.9	-3.6%
特別損益	-19.5	-1.5	18.0	—
税金等調整前四半期純利益	224.6	233.7	9.1	4.0%
四半期純利益	133.4	144.1	10.7	8.0%

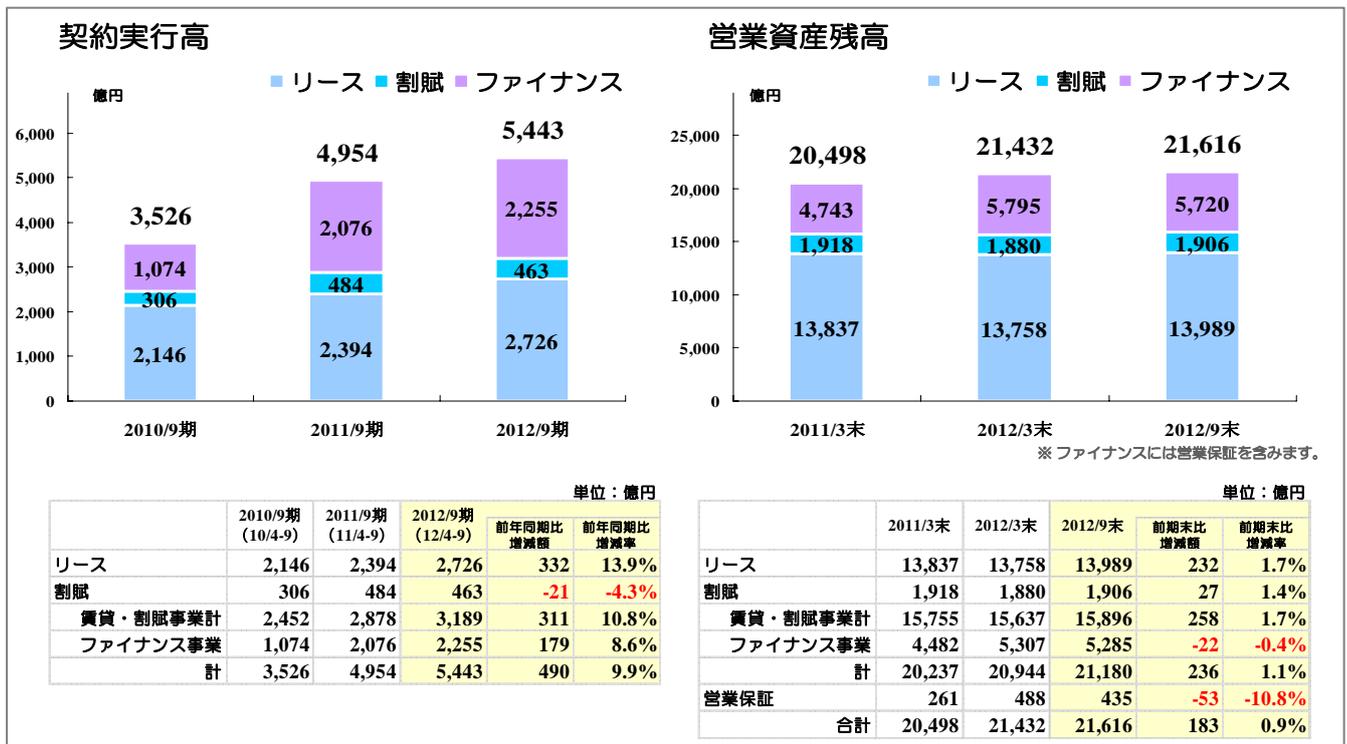
4. 資金調達の状況（連結）

- ・有利子負債残高は、普通社債やコマーシャル・ペーパーの発行が増加したことなどから 1 兆 8,691 億円となり、前期末比 859 億円増加しました。



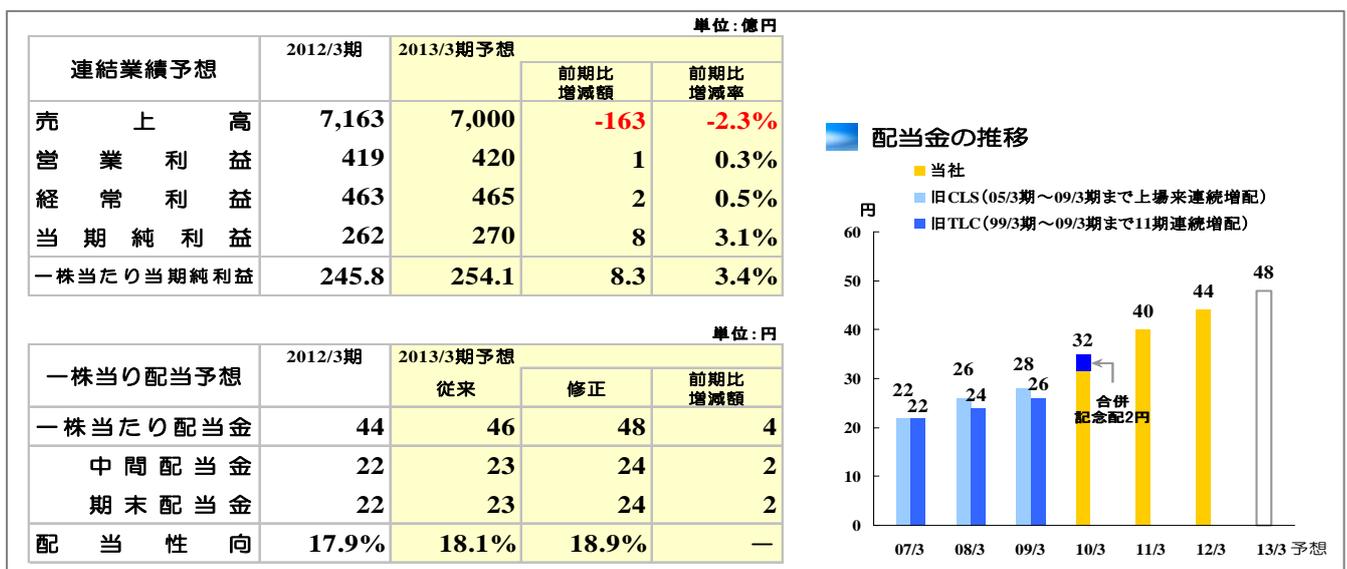
5. 営業の状況（連結）

- リース・割賦事業を中心に堅調に推移した結果、契約実行高は前年同期比 490 億円増加の 5,443 億円となりました。この結果、営業保証を含む営業資産残高は前期末比 183 億円増加の 2 兆 1,616 億円となりました。



6. 2013年3月期 連結業績予想

- 2013年3月期の連結業績予想につきましては、2012年5月8日に公表しました数値から修正は行っていません。
- なお、2013年3月期の配当につきましては、第2四半期末までの当社業績推移を踏まえ、長期的かつ安定的に利益還元を行う基本方針に基づき、当第2四半期末の配当を前回発表予想から1株当たり1円増配の24円にするとともに、期末配当予想は1株当たり1円増配の24円とし、年間配当は1株当たり46円から2円増配の48円に修正しました。
- (詳細は2012年11月5日公表の「剰余金の配当および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい)



※ 本資料には現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した将来予測数値が含まれますが、実際の業績は様々な要因により変動することがありますのでご留意下さい。

以上